

第 644 回 10 月度大会レポート

場所：久美浜 西中渡船

平成 29 年 10 月 29 日(土)

天候：雨

作成者：西山

どうした事だろう後半になって私の快進撃が止まらない(なんちゃって)今回台風にも係わらず大雨が降る中での釣行となった。行く前から既に大雨が降っておりなかなかテンションが上がらない、私の車で山川副会長と共に向かい途中のエサ屋で秋山副会長と合流し宮津フィッシングパークへ出発、現地へは既に松元会長が到着していた。出船時間になっても雨が止まず船頭も一向に現れない、6 時頃に現れ予約全部キャンセルさせてもらったはず！船頭より”今日なんか台風で筏引き上げてるで！前日に確認を取ってもらわな”との事、皆で相談し中止にせず他の渡船屋を探し、そこから 1 時間掛け移動し西中渡船にてカセで急遽行う事となった。しかしこの大雨、パラソルも径が違う物を持参しており今日は自分だけ止めておこうと思っていたが、松元会長が手際良く椅子にパラソル立てを取付けて貰い何とか行う事となった。松元会長と秋山副会長、山川副会長と私で分かれ釣開始、今回も山川副会長指導の下、カセに同乗した。まず初めに 6B の錘を付けオキアミで広角釣法すると早速何やら穂先がモゾモゾアタリ出した。上がってくるのはサンバゾウやアジで竿下の状況はエサ取りで賑わっている状態である。山川副会長よりチヌを寄せる為にダンゴ釣に切り替えようとの事でダンゴを打つベシ打つベシするもアジのオンパレードである。付けエサ回収時もガンガンアジのスレアタリが判る、ふと横を見ると来たでと山川副会長の竿が曲がっている、上がってきたのは紛れも無いチヌである。それも何枚も何枚も上げている流石である、自分も負けじと手返し打つも上がってくるのはアジであるそれも 25cm 以上の大きいサイズだ。南蛮漬けにするかフライにするかこの時点で考えている場合ではない、ここで考える事はエサ取りが多い中どの様にチヌを釣るかである。山川副会長より”くわせ団子釣法”やでとの事、真似するも中々上手くいかずようやくオキアミでくわせ団子で 1 枚釣る事ができた。その後、サナギでパンパン釣られているのを横目にしながら。私もサナギに切り替え僅かなチヌアタリを見極め(ほんまかいな、、、)入れ食い状態に釣れ出し快進撃が始まった。結果的には優勝出来なかったが大健闘した。また穂先に出るボラのスレアタリや竿の構え方、付けエサの事を色々教えて貰い今回も勉強になった。大袈裟ではないが釣り上げた腕が筋肉痛で心地良い痛みである最後に今回私は優勝では有りませんが優勝に匹敵する頑張りだった為、松元会長と山川副会長に煽られ匹数 2 位の私が代理でレポート書きました。

・長寸優勝：松元会長 36.6cm、25.1cm、28cm (計 3 枚) 他寸なし 2 枚

・匹数優勝者：山川副会長 31.5cm、31cm、29cm、29cm、27.5cm、25.2cm、25cm、25cm (計 8 枚) 他寸なし 7 枚

・匹数 2 位：西山 34cm、33.3cm、32.5cm、31.5cm、29cm、29cm、28cm (計 7 枚) 他寸なし

・秋山副会長 28cm (計 1 枚)

参加者：松元会長、山川副会長、秋山副会長、西山